

速報版

Benesse® 教育研究開発センター

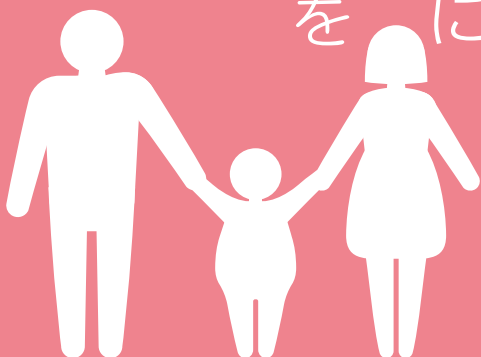
# 幼児の生活アンケート

幼児をもつ保護者を対象に

東アジア5都市調査

東京・ソウル・北京  
上海・台北

それぞれの都市に  
暮らす幼児は、  
どのような毎日  
を過ごしているの  
だろうか



私たちは、次の点に関心をもち、調査を行いました。

- 東アジアのそれぞれの都市では、
1. 幼児がどのような生活を過ごしているのか。
  2. 母親は子育てや教育などに関してどのような意識をもっているのか。
  3. 父親は家事や育児にどのくらい参加しているのか。母親はその状況に満足しているのか。

この速報版では、幼児の生活や子育てについて、各都市で共通している部分はあるのか、異なっている部分はどこなのかを検討しています。  
今回の調査結果から日本の幼児の生活や幼児を取り巻く環境をみつめなおし、子どもたちの健やかな成長のために私たち大人は何をすればよいのか、一緒に考えてみませんか。

Benesse教育研究開発センターでは、2005年3月に、首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）で、就学前の幼児をもつ保護者を対象に、アンケートを実施し、幼児の生活実態および子育てや教育などに関する母親の意識、父親のかかわり、子育て支援の状況などについて調べました（「第3回幼児の生活アンケート」）。今回はこの国内での調査実施と同時に、ソウル・北京・上海・台北においても、同じ内容の調査を行いました。この「速報版」では、この東アジア5都市調査のなかからいくつかのデータを取り上げてご紹介いたします。

Benesse Corporation

## 調査概要

### 調査テーマ

東アジア5都市（東京・ソウル・北京・上海・台北）における幼児の生活の様子、保護者の子育てに関する意識と実態

### 調査項目

子どもの基本的な生活時間／習い事／メディアとのかかわり／母親の教育観・子育て観／子どもの将来への期待／今、子育てで力を入れていること／母親の子育て意識／父親の家事・育児参加／子育て支援など

### 調査時期・対象・地域・方法

	東京	ソウル	北京	上海	台北
調査時期	2005年3月	2005年4月	2005年3月	2005年3月	2005年5月～6月
調査対象	3～6歳の就学前の幼児をもつ保護者				
	1,007名	941名	992名	935名	2,259名
調査地域(※)	東京駅から40km圏内の市区町村	ソウル市、京畿道	北京市	上海市	台北市、台北縣、基隆市、桃園縣
調査方法	郵送法（自記式アンケートを郵送により配布・回収）	幼稚園・保育施設通しによる家庭での自記式質問紙調査（10園、21施設）	幼稚園通しによる家庭での自記式質問紙調査（8園）	幼稚園通しによる家庭での自記式質問紙調査（7園）	郵送法（自記式アンケートを郵送により配布・回収）

※調査地域：東京・ソウル・台北での調査地域は、各都市を中心にして周辺地域を含んでいる。ただし、この速報版では、それぞれ「東京」「ソウル」「台北」と表記する。

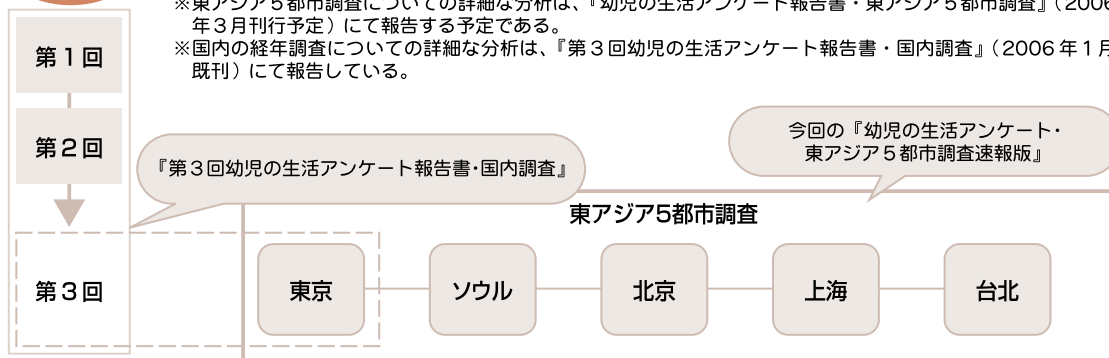
## 分析枠組みとサンプル構成

### 経年調査

■データの精度を高めるため、比推定を用い、調査対象の属性別構成比を加工した。比推定で用いるウェイトは、子どもの性別（2区分）×子どもの年齢別（4区分）の8区分に分割して算出した。

※東アジア5都市調査についての詳細な分析は、『幼児の生活アンケート報告書・東アジア5都市調査』（2006年3月刊行予定）にて報告する予定である。

※国内の経年調査についての詳細な分析は、『第3回幼児の生活アンケート報告書・国内調査』（2006年1月既刊）にて報告している。



	東京	ソウル	北京	上海	台北
全体	1,007 (989)	941 (874)	992 (707)	935 (709)	2,259 (1,842)
3歳	279	168	193	164	182
4歳	247	318	349	304	760
5歳	260	386	330	301	648
6歳	221	69	120	166	669

(名)

※ ( )内は母親のサンプル数。

## 分析について

### 分析の対象

- 調査概要に示したとおり、東京・台北とソウル・北京・上海では、調査方法が異なる。そのため、ソウル・北京・上海では就園児のみのサンプル構成になるなど、子どもの就園状況は実際の母集団を反映していない。調査結果を読む際には、この点に注意を払う必要がある。

### 数値

- 速報版の数値は、すべてウエイトをつけて算出した値である(サンプル数を除く)。

### 分析のスタンス

- 幼児の生活や保護者の子育て意識について、各都市の興味深い特徴が浮かび上がっている。こうした特徴は、各都市の文化・社会経済的な背景などの影響が大きく、また子育てをめぐる諸制度が異なっていることなどから単純に比較することは難しい。そのためこの速報版では、単純集計をもとにできるだけ解釈を加えず、わかりやすく示すことを最優先とした。

## 就学前の保育・教育の状況

- 韓国における正規的就学前機関は、0歳～5歳児を対象とする保育施設(韓国語で「オリニジブ」と、3歳～5歳児を対象とする幼稚園がある。保育施設の内訳としては、一般の保育所(国公立、民間)に加え、職場保育施設、いわゆる保育ママといった家庭保育施設、父母共同保育施設がある。また、韓国に特徴的なのは、これ以外に、「学院(ハゴン)」という民間の幼児教室(幼児向けの民間塾)に少なからぬ幼児が通っている点である。例えば、「美術学院」では、午前中は絵画を習い、午後は英語や教育プログラムを提供し、預かり保育というサービスも提供しているところもある。
- 中国における就学前機関は、主として託児所、幼稚園と就学前クラスである。もともと託児所は0歳～2歳の乳幼児を対象とする保育機関、幼稚園は3歳～5歳の幼児を対象とする教育機関という分担であるが、現在では、託児所と幼稚園が教育機関として一体化する動きがみられる。具体的には単独の託児所が減少し、幼稚園が0歳(実際には1歳半または2歳)～5歳の幼児を教育する方向に移りつつある。就学前クラスは、主に農村部の小学校に付設され、現地の実情にあわせ1年～3年間の幅がある。
- 台湾における就学前機関は、主として託児所と幼稚園である。託児所は0歳～5歳の幼児を対象とする保育機関、幼稚園は4歳～5歳の幼児を対象とする教育機関という分担であるが、託児所と幼稚園と実質的には機能(幼児の在籍年齢や保育時間など)がほぼ同じであること、またどんな機関に通っている幼児に対しても、質の高い教育を提供すべきであるという考えなどから、現在では、「幼託整合」(幼保一元化)の動きがみられる。

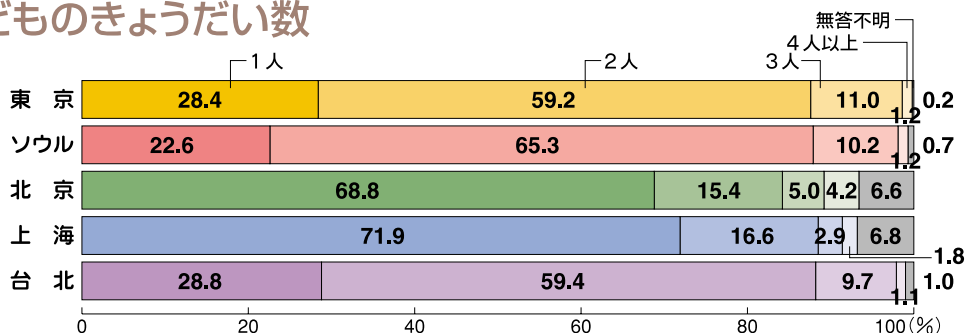
国(地域)	日本	韓国	中国	台湾
就園率	日本全体	韓国全体	北京 3歳～5歳 幼稚園 87.9%	台北 2歳～3歳 幼稚園 14.2% 託児所 9.1%
	3歳 幼稚園 36.0% 保育園 33.2%	3歳 幼稚園 12.9% 保育施設 40.4%	上海 3歳～5歳 幼稚園 99.9%	3歳～4歳 幼稚園 35.5% 託児所 18.7%
	4歳 幼稚園 54.7% 保育所 39.0%	4歳 幼稚園 27.4% 保育施設 34.8%		4歳～5歳 幼稚園 66.1% 託児所 19.8%
	5歳 幼稚園 58.2% 保育園 38.8%	5歳 幼稚園 47.7% 保育施設 29.3%		5歳～6歳 幼稚園 72.0% 託児所 22.4%
合計特殊 出生率 <sup>2)</sup>	1.29 (2004年)	1.16 (2004年)	1.83 (2000～2005年の平均)	1.18 (2004年)

1) 日本…「学校基本調査」(文部科学省2005年)「社会福祉施設等調査」(厚生労働省2003年)「平成16年の人口動向」(統計局)より算出。  
韓国…「幼稚園統計」(教育人的資源部2004年)「保育統計」(保健福祉部2004年)  
中国…北京「北京市教育事業統計年報」2004年 上海「2004年上海市教育工作年報」  
台湾…「3～6歳児の就学前教育を受けている比率に関する調査研究」(林鳳蓉等 1991年 台北市立教育大学)

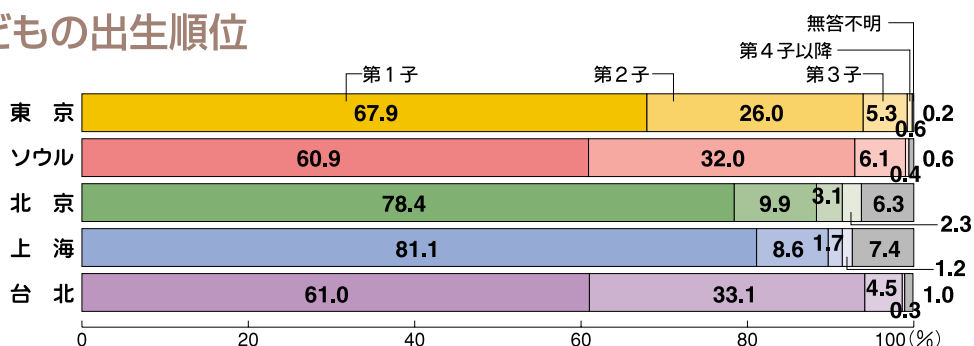
2) 「平成17年版 少子化社会白書」(内閣府)

# 基本属性

## 1 子どものきょうだい数



## 2 子どもの出生順位

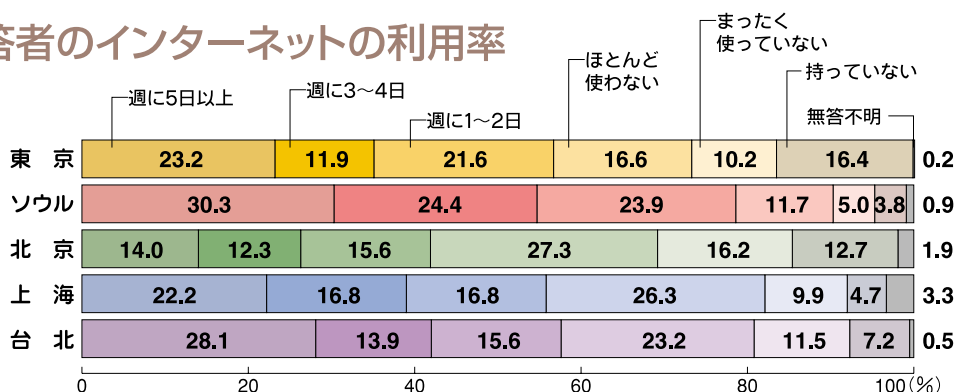


## 3 母親の就業状況

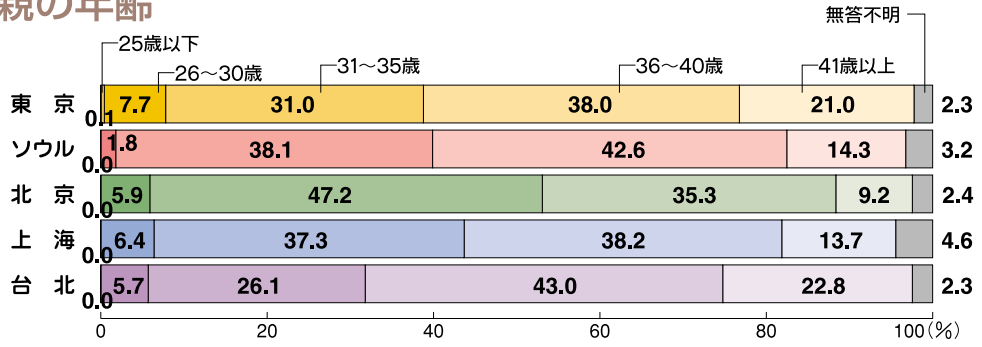
	東京	ソウル	北京	上海	台北
常勤（フルタイム）	7.9	24.8	76.3	68.7	63.0
パートタイム	13.9	6.2	0.8	0.0	3.7
専業主婦	68.0	50.8	5.0	9.9	23.0
フリー（在宅ワーク含む）	5.2	7.7	9.4	12.1	3.9
産休、育休中や休職中	1.3	1.8	0.8	0.7	0.7
その他	2.0	8.0	1.5	0.7	0.5
無答不明	1.6	0.8	6.2	8.0	5.2

※母親の回答のみ分析。 ※      は各都市における最大値、      は次に大きな値を示す。 (%)

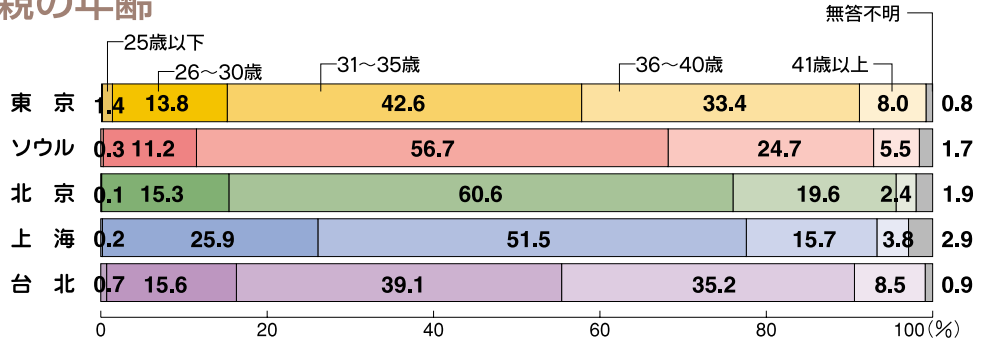
## 4 回答者のインターネットの利用率



## 5 父親の年齢



## 6 母親の年齢



## 7 父親の最終学歴

	東京	ソウル	北京	上海	台北
中学校	3.5	0.5	2.6	1.6	3.5
高等学校	<u>23.4</u>	<u>25.7</u>	9.8	9.2	9.1
専門学校	14.3	-	1.6	1.6	13.0
高等専門学校	2.1	-	-	-	-
短期大学	1.4	12.6	<u>20.7</u>	18.7	<u>27.9</u>
四年制大学	<u>45.5</u>	<u>46.7</u>	<u>37.5</u>	<u>37.2</u>	<u>28.7</u>
大学院（六年制大学を含む）	5.9	10.5	17.1	<u>20.9</u>	16.4
その他	0.5	1.2	4.1	3.1	0.5
無答不明	3.4	2.6	6.5	7.6	0.9

※ソウルでは「専門学校」「高等専門学校」に相当する項目をたずねていない。  
北京・上海・台北では「高等専門学校」に相当する項目をたずねていない。  
※        は各都市における最大値、       は次に大きな値を示す。

## 8 母親の最終学歴

	東京	ソウル	北京	上海	台北
中学校	1.8	0.4	2.5	2.0	1.6
高等学校	<u>25.3</u>	<u>38.8</u>	8.0	11.9	7.1
専門学校	19.8	-	2.6	2.3	18.8
高等専門学校	2.1	-	-	-	-
短期大学	<u>28.6</u>	20.2	<u>28.6</u>	<u>28.9</u>	<u>33.9</u>
四年制大学	18.6	<u>32.8</u>	<u>37.3</u>	<u>32.1</u>	<u>30.3</u>
大学院（六年制大学を含む）	0.9	5.2	8.8	11.3	7.5
その他	0.2	0.7	5.8	3.8	0.3
無答不明	2.8	1.8	6.4	7.6	0.5

※ソウルでは「専門学校」「高等専門学校」に相当する項目をたずねていない。  
北京・上海・台北では「高等専門学校」に相当する項目をたずねていない。  
※        は各都市における最大値、       は次に大きな値を示す。

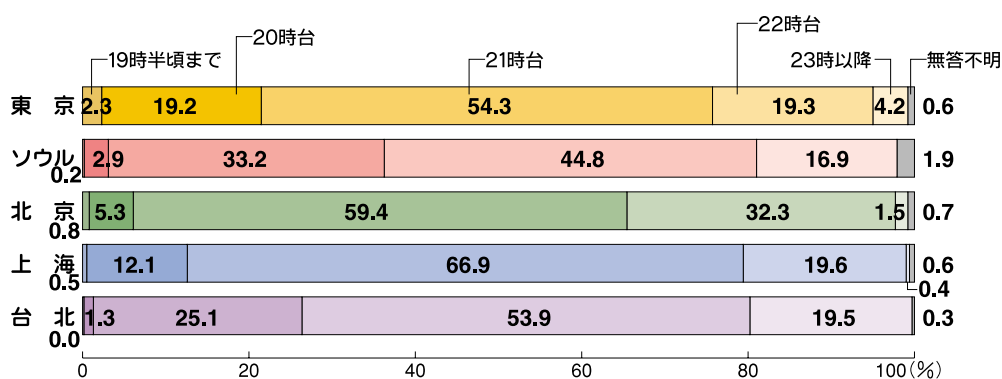
# 1 幼児の生活

## 1 就寝時刻と起床時刻

平日の就寝・起床時間帯をみると、東京・北京・上海は就寝・起床の時刻が早く、ソウルや台北は遅い。

Q 平日夜、何時頃に寝ますか。

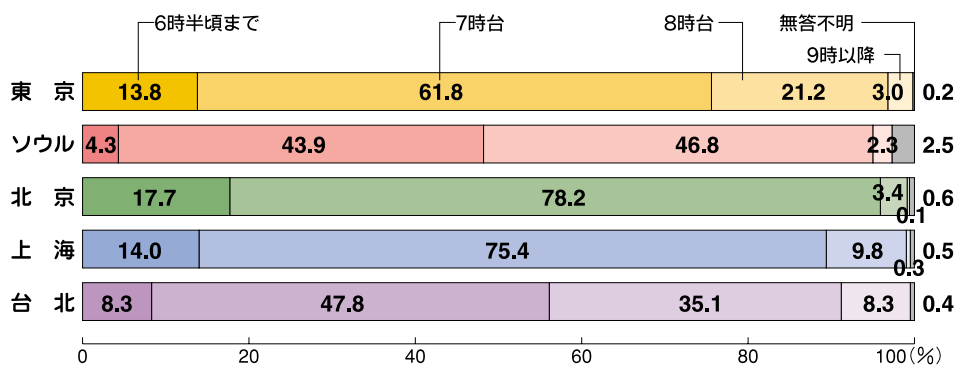
図1-1-1 平日の就寝時刻



※「20時台」は、平日の就寝時刻について「20時頃」もしくは「20時半頃」と回答した人。他の時間帯も同様である。

Q 平日、何時頃に起きますか。

図1-1-2 平日の起床時刻



※「7時台」は、平日の起床時刻について「7時頃」もしくは「7時半頃」と回答した人。他の時間帯も同様である。

就寝時刻をみると、「21時台」より早く寝る幼児は、東京75.8%、北京65.5%、上海79.5%と比較的多いが、ソウルは36.3%、台北は26.4%と比率が低い。

一方、起床時刻では、「7時台」より早く起きる幼

児は、東京75.6%、北京95.9%、上海89.4%と多いのに対して、ソウル48.2%、台北56.1%である。

東京、北京、上海の3都市は、相対的に早寝早起の傾向が表れている。

# 2

## 睡眠時間

東京では、幼児の睡眠時間が10時間台であるのに対して、それ以外の4都市では、9時間台である。

Q 平日夜、何時頃に寝ますか。／平日、何時頃に起きますか。

図1-2-1 就寝・起床の平均時刻と平均睡眠時間

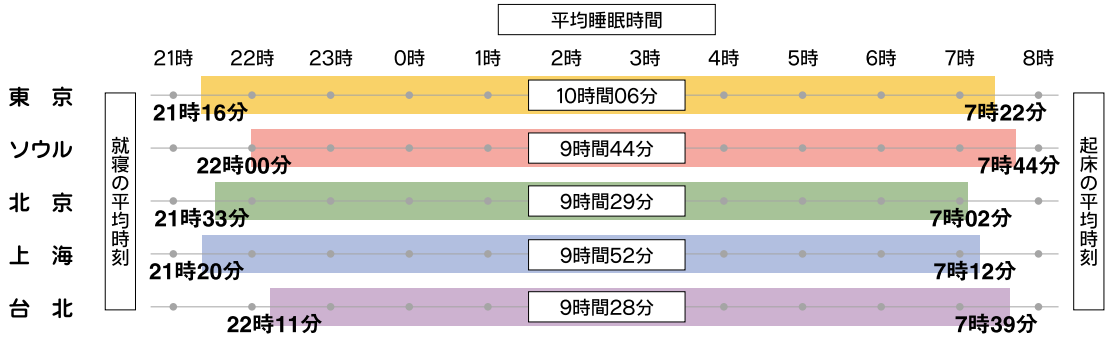


表1-2-1 就寝・起床の平均時刻と平均睡眠時間（子どもの年齢別）

東京			
	就寝の平均時刻	起床の平均時刻	平均睡眠時間
3歳児	21時27分	7時38分	10時間11分
4歳児	21時13分	7時19分	10時間06分
5歳児	21時07分	7時19分	10時間12分
6歳児	21時16分	7時13分	9時間57分

ソウル			
	就寝の平均時刻	起床の平均時刻	平均睡眠時間
3歳児	22時09分	7時46分	9時間37分
4歳児	22時01分	7時49分	9時間48分
5歳児	21時56分	7時43分	9時間47分
6歳児	21時54分	7時40分	9時間46分

北京			
	就寝の平均時刻	起床の平均時刻	平均睡眠時間
3歳児	21時28分	7時05分	9時間37分
4歳児	21時34分	7時05分	9時間31分
5歳児	21時34分	7時02分	9時間28分
6歳児	21時34分	6時58分	9時間24分

上海			
	就寝の平均時刻	起床の平均時刻	平均睡眠時間
3歳児	21時19分	7時14分	9時間55分
4歳児	21時20分	7時14分	9時間54分
5歳児	21時23分	7時13分	9時間50分
6歳児	21時18分	7時07分	9時間49分

台北			
	就寝の平均時刻	起床の平均時刻	平均睡眠時間
3歳児	22時18分	7時57分	9時間39分
4歳児	22時14分	7時44分	9時間30分
5歳児	22時08分	7時32分	9時間24分
6歳児	22時04分	7時24分	9時間20分

※就寝と起床の平均時刻は、「21時頃」を21時、「23時半以降」を23時30分のように置き換えて算出した。また、平均睡眠時間は、就寝時刻と起床時刻から算出した。なお、いずれかの質問に対して無答不明のあった人は、分析から除外している。

平均睡眠時間をみると、東京はもっとも長く、10時間06分である。これに対して、もっとも短いのは台北で、9時間28分である。年齢別でみると、東京では、6歳児のみ10時間を切っているが、3歳～5歳児は10時間台の睡眠を保

っている。北京・上海・台北は子どもの年齢が上がるにつれ、睡眠時間が若干減っていく傾向がある。ソウルでは、3歳児の就寝時刻がもっとも遅く睡眠時間も9時間37分と短い。

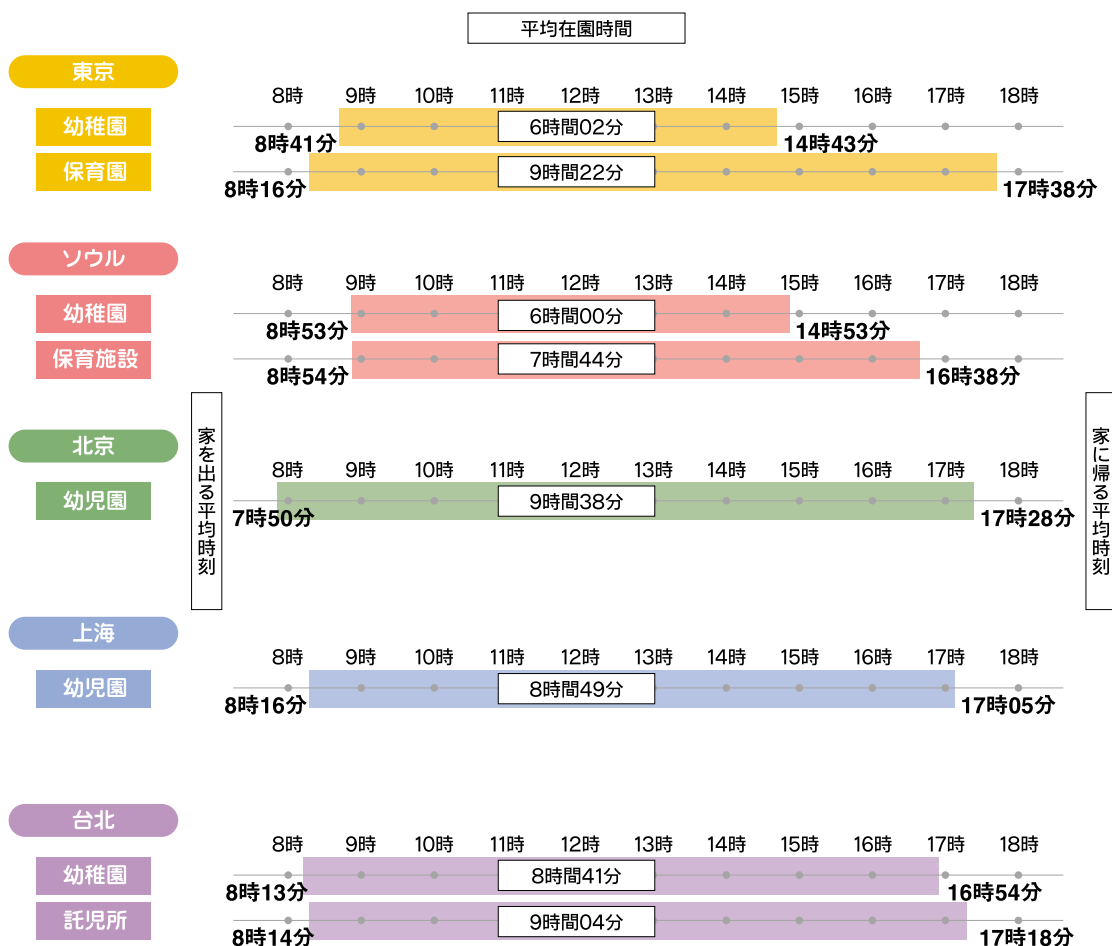
## 3

## 幼稚園・保育園にいる時間

北京・上海・台北は在園時間が9時間前後で比較的長い。東京とソウルでは、園の形態により在園時間が異なる。

Q 幼稚園・保育園に行くために何時頃、家を出ますか。／何時頃、帰宅しますか。

図1-3-1 家を出る・家に帰る平均時刻と平均在園時間（就園状況別）



※幼稚園・幼児園・保育園・保育施設・託児所に通っている幼児をもつ保護者の回答のみ分析。

※家を出る・家に帰る時刻は、「7時半頃」を7時30分、「19時以降」を19時のように置き換えて算出した。また、平均在園時間は、家を出る時刻と家に帰る時刻から算出したため、通園時間を含む。なお、いずれかの質問に対して無答不明のあった人は、分析から除外している。

園の形態が幼稚園と保育園に分かれる東京・ソウル・台北の3都市をみてみよう。東京とソウルは、幼稚園児と保育園児で在園時間が異なる。幼稚園児は東京もソウルも6時間前後で相対的に短く、保育園児は東京が9時間22分、ソウルで7時間44分となっている。これに対して、台北は、

幼稚園児8時間41分、託児所児9時間04分と、園の形態を問わず長く在園している。

一方、北京は9時間38分、上海は8時間49分と在園時間は長い傾向が表れている。とくに、北京では多くの幼児園で三食を用意しており、いずれの都市よりも園にいる時間が長い。

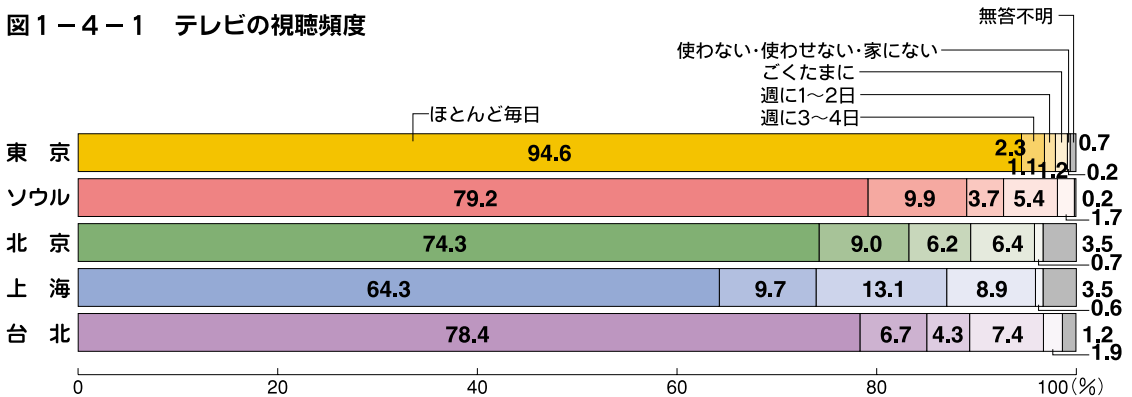


## 4 メディアとの接触

テレビの視聴頻度は、東京がもっとも高く、かつ平均視聴時間が長い。パソコンの使用頻度についてみてみると、「ほとんど毎日」と「週に3~4日」の合計は、東京4.3%に対して、ソウルは40.0%と、もっとも比率が高い。

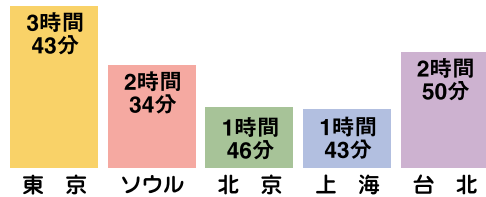
Q お子様は次のものをどれくらい使いますか（テレビ）。

図1-4-1 テレビの視聴頻度



Q お子様は1日あたり何時間くらいテレビ／ビデオ／DVD（VCD）を見ていますか。

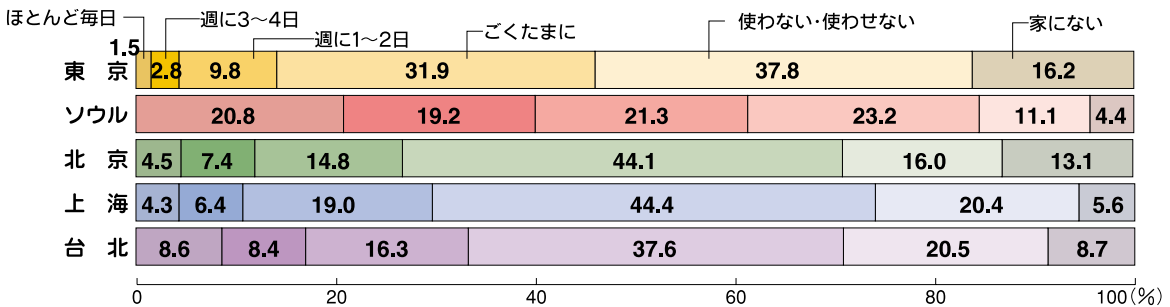
図1-4-2 平均視聴時間



※「テレビ」「ビデオ」「DVD（VCD）」を使う頻度に関する設問で「ごくたまに」「使わない・使わせない」「家にない」と回答した場合は「0時間」として平均視聴時間を算出した。東京・ソウルは「テレビ」「ビデオ」「DVD（VCD）」視聴時間の和。北京・上海・台北は「テレビ」「DVD（VCD）」視聴時間の和（これらの地域では、ビデオの代わりにビデオCD（VCD）およびDVDが普及しているため「ビデオ」視聴時間は、たずねていない）。なお、いずれかの質問に対して無答不明のあった人は、分析から除外している。

Q お子様は次のものをどれくらい使いますか（パソコン）。

図1-4-3 パソコンの使用頻度



※無答不明は除いて算出した。

東京はテレビの視聴頻度が高く、「ほとんど毎日」見ている割合が9割を超える。平均視聴時間も長く、3時間43分である。東京と対照的なのは上海で、テレビを「ほとんど毎日」見ている割合が6割強、平均視聴時間も1時間台である。

次に、パソコンの使用頻度を見ると、「ほとんど毎日」と「週に3~4日」の合計比率は、東京が4.3%で、もっとも低い。また、北京・上海は1割強、台北は2割弱である。これに対して、ソウルは4割で、もっとも割合が高い。

# 5 習い事事情

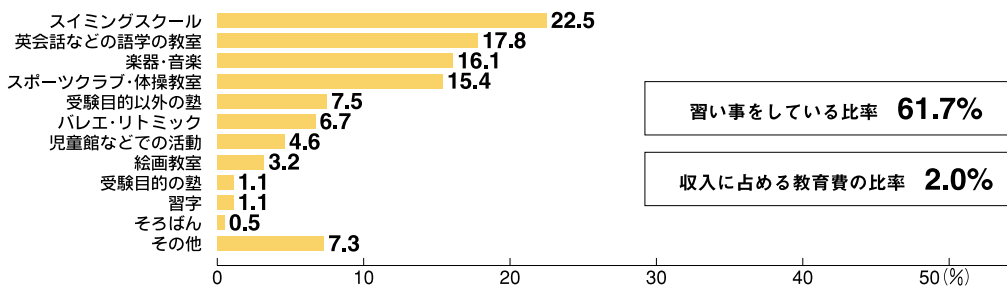
習い事をしている割合をみると、どの都市も5割を超えている。

習い事の内容やどのような活動を「習い事」として考えるかは、国や都市によって異なる。そのため今回の調査では、その都市の現状にあわせて、習い事の項目を設定した。したがって、都市により、共通している項目もあるが、異なる項目もある。各都市の習い事事情については、下記の通りである。

図1-5-1

## 東京

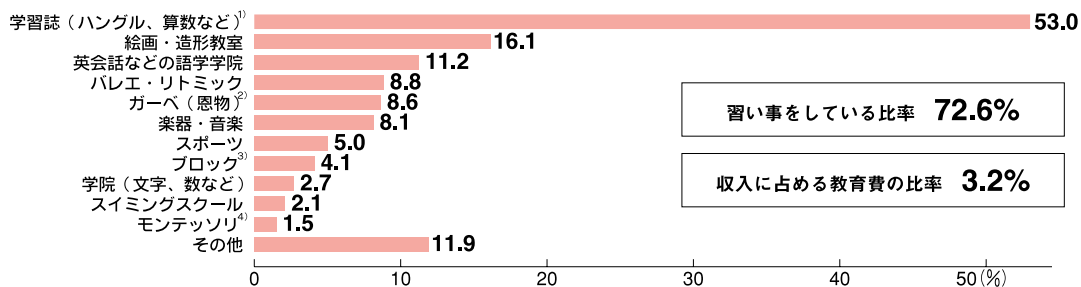
Q お子様は現在、どのような習い事・おけいこ事（通信教育を除く）をしていますか。



習い事の内容としては、「スイミングスクール」や「スポーツクラブ・体操教室」といったスポーツ系、「英会話などの語学の教室」「楽器・音楽」の習い事に通っている比率が高いことが特徴である。

## ソウル

Q 現在、お子様は正規の幼児教育施設以外に、習い事をしていますか。または家庭訪問指導を受けていますか。



習い事の種類をみると、「学習誌（ハングル・算数など）」が53.0%で圧倒的に高い。

この「学習誌（ハングル・算数など）」は専門の講師が家庭を訪問してくれるのが一般的である。つづいて「絵画・造形教室」（16.1%）、「英会話などの語学学院」（11.2%）が多い。「学習誌（ハングル・算数など）」「ガーベ（恩物）」「ブロック」「モンテッソリ」などの教具や教育プログラムが「習い事」として考えられ、幼児が通う形態だけではなく、専門講師が家庭を訪問するサービスが発達しているのが、ソウルの習い事の大きな特徴である。

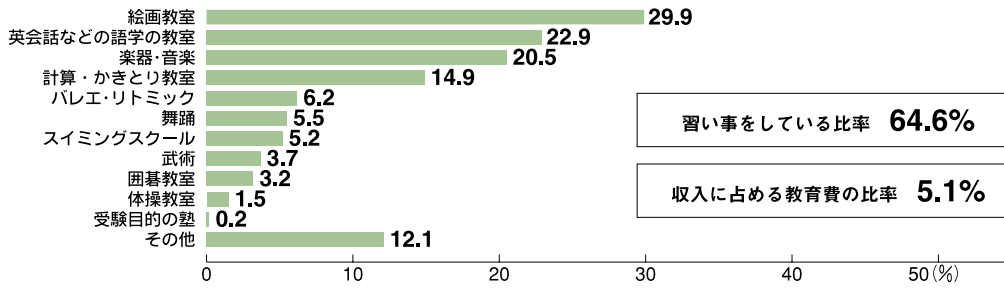
※韓国は就学前の幼児向け教育教材・玩具が充実しており、幼稚園・保育施設・学院（ハゴン）などの施設や一般家庭で多く利用されている。なかでも、<sup>1)</sup>学習誌：ハングル・算数・英語などの学習誌や教材のセット、<sup>2)</sup>ガーベ（恩物）：ドイツの教育者であるフレーベルが1837年に幼児教育に必要な遊具として考案した、一連の教育玩具の総称、<sup>3)</sup>ブロック：「レゴ」や「ブロックピア」を使ったブロック遊び、<sup>4)</sup>モンテッソリ：イタリアの教育者であるモンテッソリが考案した一連の教具を使ったモンテッソリ教育など専門の講師による訪問授業のサービスも提供していることが多い。

習い事の種類をみると、5都市共通して上位3位に入っているのは「英会話などの語学の教室」である。どの都市の保護者も英語への関心の高さがうかがえる。また東京では「スイミングスク

ール」「スポーツクラブ・体操教室」などのスポーツ系の習い事が多く、「絵画教室」などの芸術系の習い事がやや少ないのが、特徴である。

北京

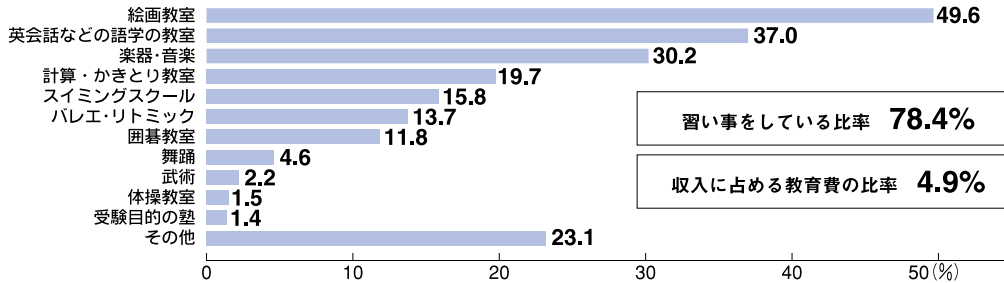
Q お子様は現在、どのような習い事・おけいこ事（家庭教師を含む）をしていますか。



北京の子どもは教室に通う習い事もしているが、幼稚園のなかで保育時間以外に、外部の講師を招いた課外活動（「課外興趣班」）に参加する子どもも多い。習い事の種類をみると、「絵画教室」「英会話などの語学の教室」「楽器・音楽」「計算・かきとり教室」などが上位を占めている。芸術系や学習系の習い事の人気の高いことが特徴である。

上海

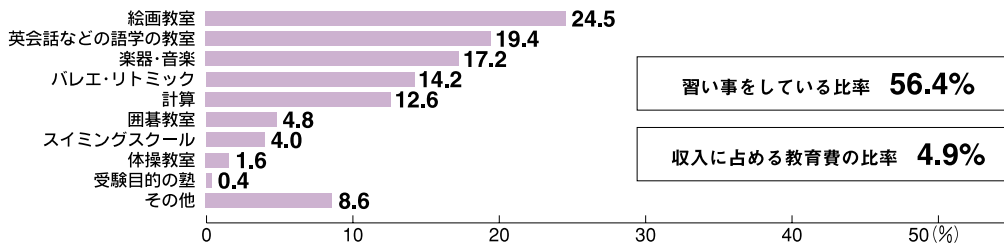
Q お子様は現在、どのような習い事・おけいこ事（家庭教師を含む）をしていますか。



上海は北京と同様に、幼稚園での課外活動（「課外興趣班」）に参加している子どもが多い。内容をみると、「絵画教室」が5割で、トップとなっている。2位から4位は、「英会話などの語学の教室」「楽器・音楽」「計算・かきとり教室」となっていて、順位は北京と同様である。また、「スイミングスクール」が15.8%で、5位となっている。芸術系・学習系・スポーツ系と、子どもたちがさまざまなジャンルの習い事に通っていることがわかる。

台北

Q お子様は現在、どのような習い事・おけいこ事（家庭教師を含む）をしていますか。



習い事の種類をみると、1位から5位は「絵画教室」「英会話などの語学の教室」「楽器・音楽」「バレエ・リトミック」「計算」となっている。北京・上海と同様に、芸術系や学習系の習い事が中心である。

※複数回答。

※北京・上海の習い事について、「その他」の具体的内容に「舞踊」「武術」が多く含まれていたため、項目として取り出して集計している。

※習い事をしている比率は、「その他」を含むいずれかの習い事を1つでも選択した人の比率。

※教育費は、習い事だけでなく絵本、通信教育などにかかる費用も合計して回答してもらっている。

※収入に占める教育費の比率は、次の①と②から算出した。他都市についても同様に算出。①1年間の収入をたずねた項目で「200万円未満」を1,000,000円、「1,500万～2,000万円未満」を17,500,000円と置き換える。②子ども1人あたりの1か月の教育費をたずねた項目で「1,000円未満」を500円、「25,000円～30,000円」を27,500円と置き換え、その数値に12を掛ける。

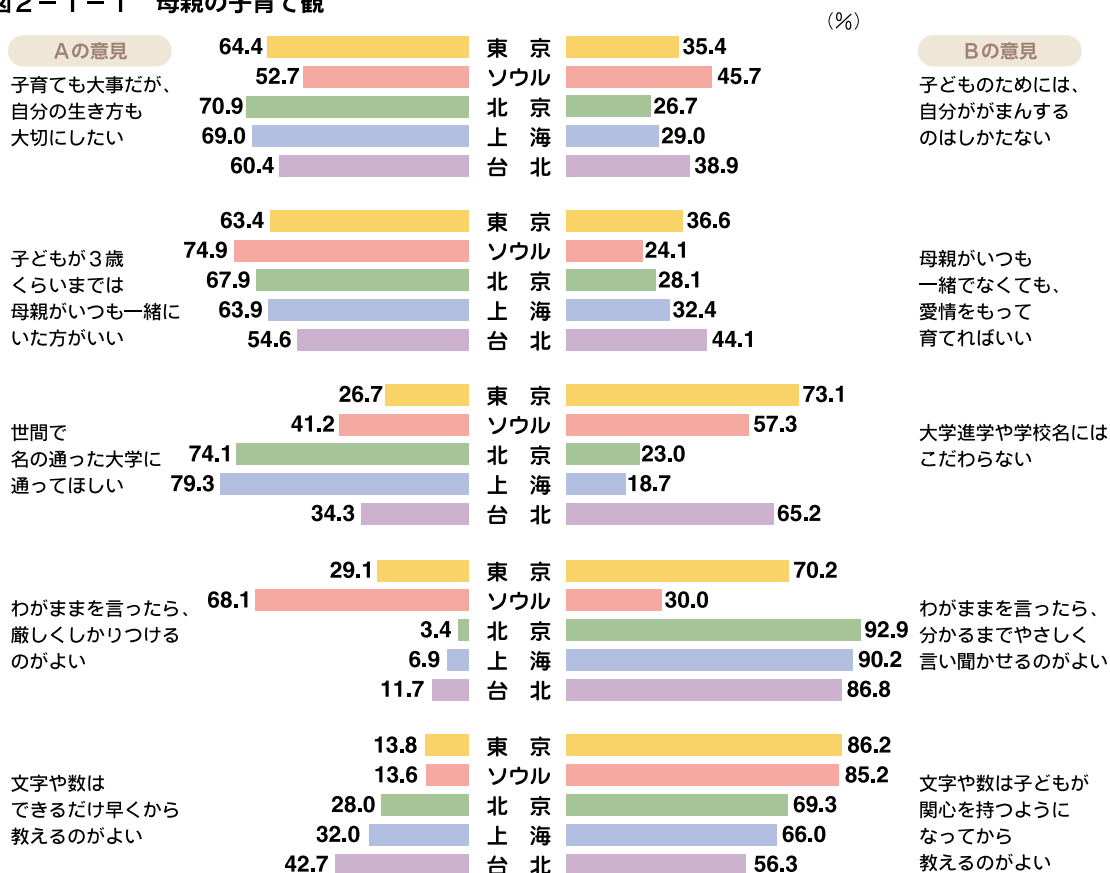
# 2 母親の意識

## 1 母親の子育て観

子育てと自分の生き方のバランス、子どもの教育に対する考えなど、母親の子育て観は都市により大きく異なる。

Q 子育てに関するAとBの2つの意見のうち、あなたのお気持ちに近いほうはどちらですか。

図2-1-1 母親の子育て観



※母親の回答のみ分析。

※無答不明があるため、Aの意見とBの意見の数値を合計しても100%にはならない。

大学進学について、「A. 世間で名の通った大学に通ってほしい」か「B. 大学進学や学校名にはこだわらない」かのいずれかを選んでもらったところ、Aを選択した比率は上海(79.3%)、北京(74.1%)で高く、東京(26.7%)がもっとも低かった。東京の母親は、他の都市と比べて子どもの学歴にはそれほどこだわっていない様子が

うかがえる。また子どもがわがママを言ったときのかかりについて、「A. 厳しくしかりつけるのがよい」か「B. 分かるまでやさしく言い聞かせるのがよい」かを選んでもらったところ、Aの比率は、ソウル(68.1%)が高く、東京では29.1%であった。このように、子育て観は都市により大きく異なる。

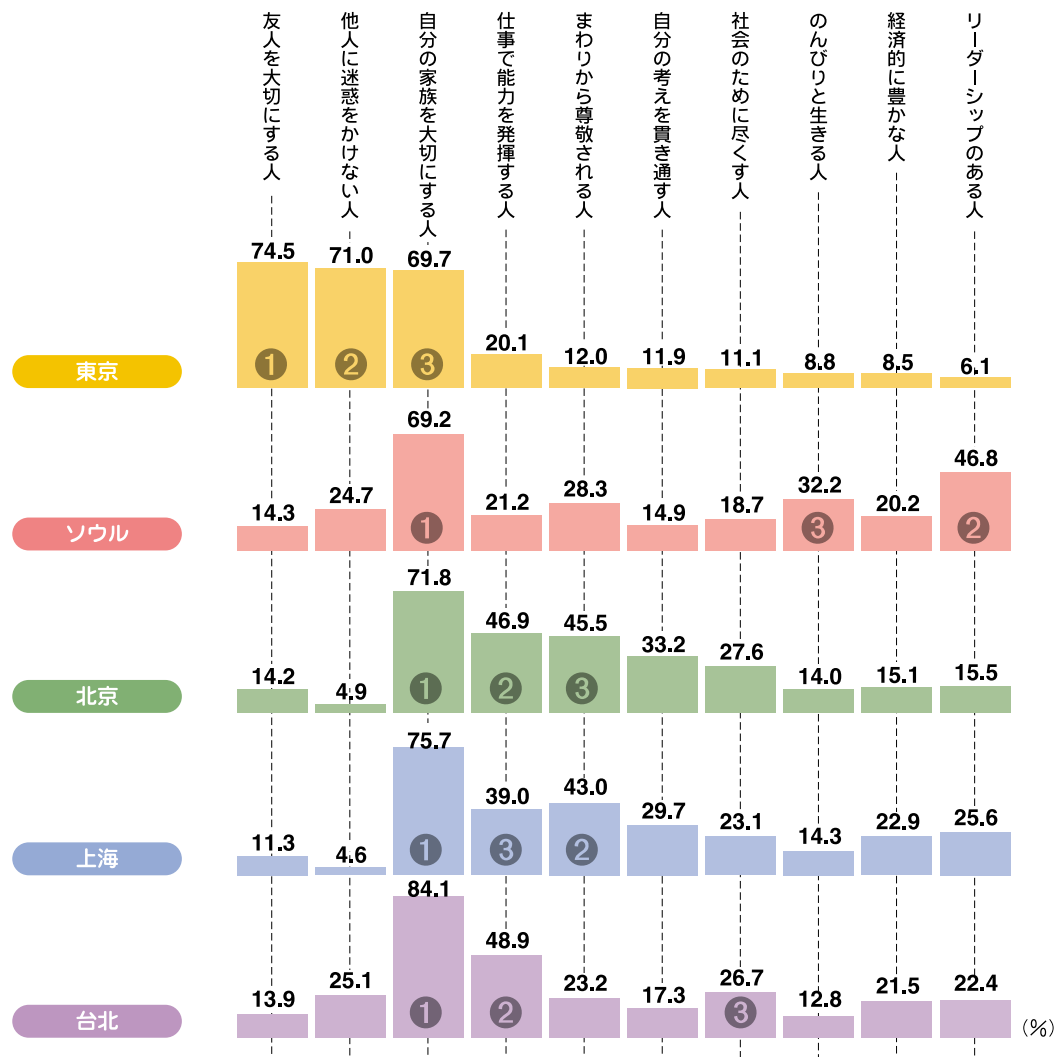
## 2

## 子どもの将来に対する期待

自分の子どもに将来どのような人になってほしいかを聞いたところ、「自分の家族を大切にできる人」はいずれの都市でも選択される比率が高かった。東京では人間関係に関連する項目に回答が集中しているのが大きな特徴である。

Q お子様に、将来どのような人になってほしいと思いますか。

図2-2-1 子どもの将来に対する期待



※母親の回答のみ分析。 ※各都市の上位3位までを①②③と表示。

※10項目の中から3つまで選択。 ※「のんびりと生きる人」について、ソウルでは「精神的に余裕をもってゆっくり生きる人」となっている。

どのような人になってほしいかについて10項目中3つまで選んでもらったところ、「自分の家族を大切にできる人」はいずれの都市でも選択される比率が高く、東京以外の都市ではトップである。また「友人を大切にできる人」「他人に迷惑をかけない人」の2項目は、東京では多くの母親

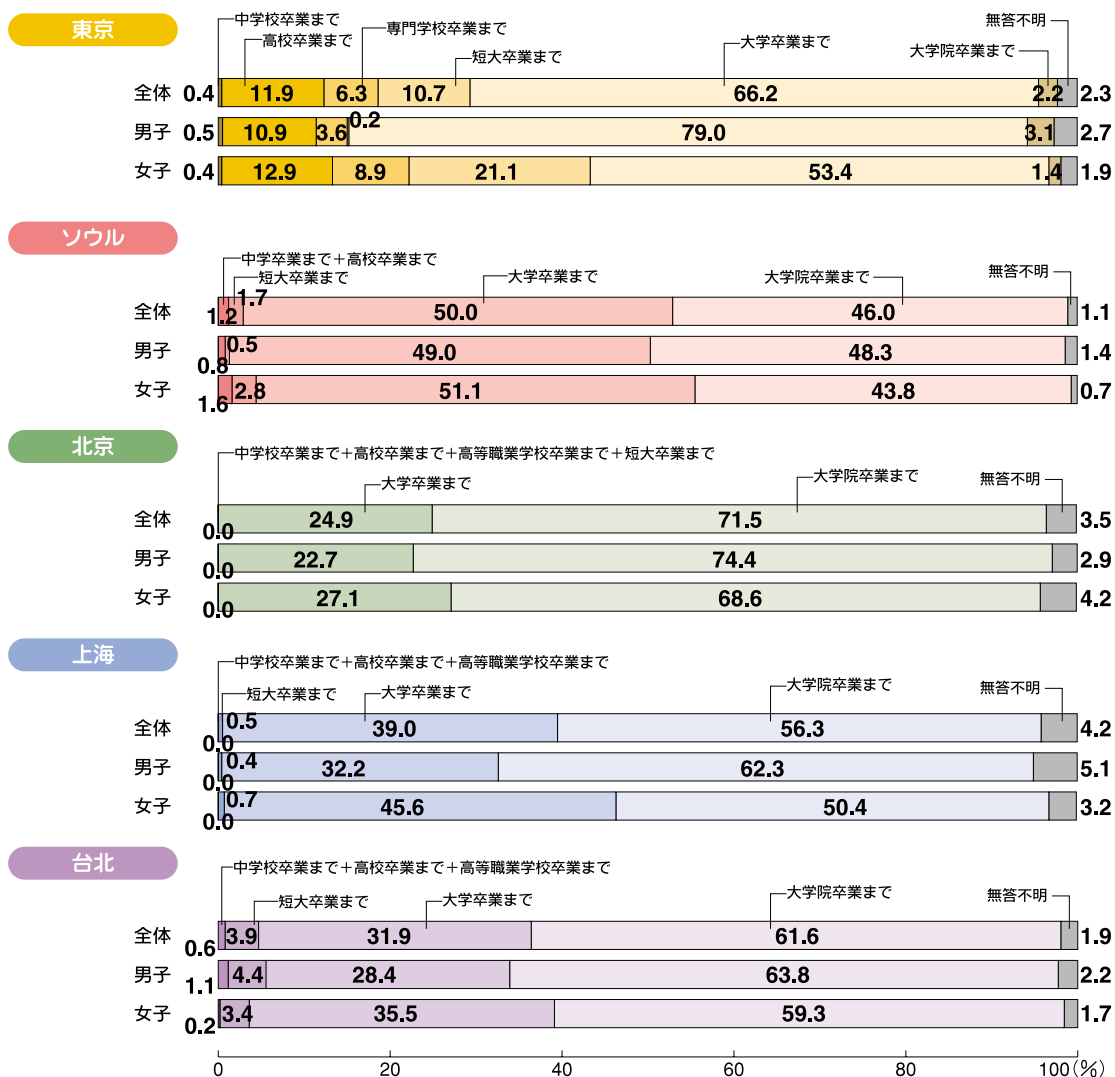
が選んでいるが、他の都市では選択される比率が低かった。これに対して、ソウルでは「リーダーシップのある人」を選ぶ母親が多く、北京・上海・台北では「仕事で能力を発揮する人」の比率が高いなど、人間関係についての項目以外にも回答がちらばっていることがわかる。

### 3 子どもの進学に対する期待

「高校卒業まで」という回答は、東京では1割を超すが、他の都市にはほとんどみられない。北京・上海・台北の母親は、半数以上が「大学院卒業まで」を期待している。

Q 現在、お子様をどの程度まで進学させたいとお考えですか。

図2-3-1 子どもの進学に対する期待（全体 子どもの性別）



※母親の回答のみ分析。 ※ソウルは「専門学校卒業まで」に相当する項目をたずねていない。

東京では、「大学卒業まで」を希望する比率が66.2%と高く、「大学院卒業まで」は2.2%しかない。しかし、東京以外の4都市では、「大学院卒業まで」進学してほしいと回答する母親の割合が高く、とくに北京は7割を超えている。また、進学に対する期待を子どもの性別でみると、

東京は性差が大きいのが特徴である。「大学卒業まで」と「大学院卒業まで」の合計をみると、東京では男子と女子で27.3ポイントの差があるが、他の都市ではこうした差はそれほど大きくみられなかった。

## 4

## 母親の子育て意識

母親に対して子育てについての意識をたずねたところ、どの都市の母親も子育てに対する肯定的な感情が高い一方で、6割以上が「子どものことでどうしたらよいか分からなくなる」と回答しており、不安も抱えている様子が見える。

Q あなたは、最近次のようなことをお感じになることがありますか。

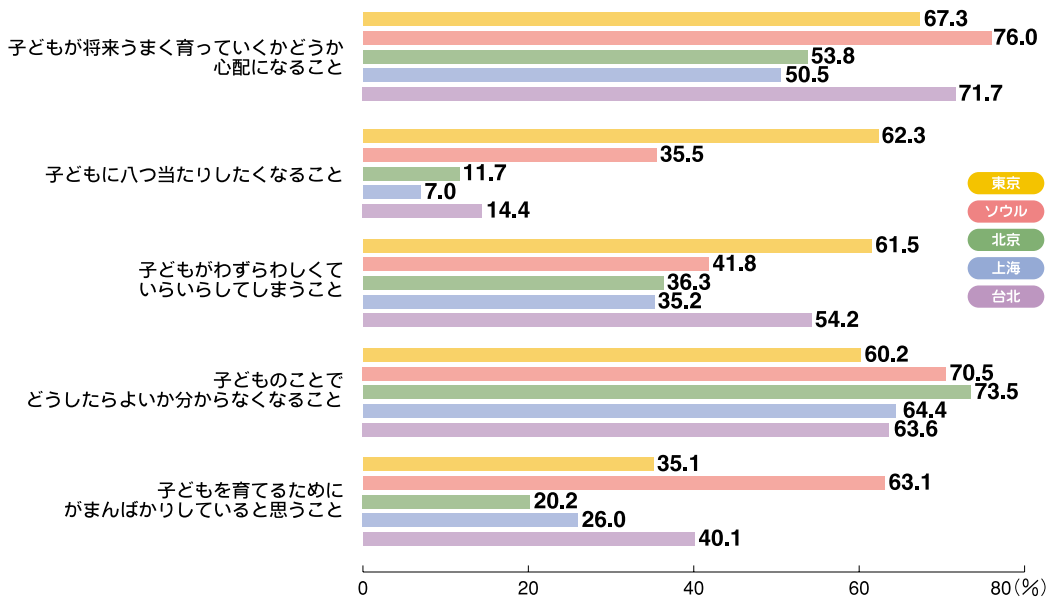
表2-4-1 母親の子育て意識（肯定的な感情）

	東京	ソウル	北京	上海	台北
子どもがかわいくてたまらないと思うこと	97.6	93.6	95.1	93.5	88.2
子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思うこと	93.2	94.9	92.1	90.2	80.8
子どもと遊ぶのはとてもおもしろいと思うこと	90.1	89.1	93.5	91.0	84.9
子育てによって自分も成長していると感じること	81.3	82.9	79.6	80.6	85.9
自分の子どもは結構うまく育っていると思うこと	78.0	94.7	86.5	87.1	71.8

※「よくある+ときどきある」の%。 ※母親の回答のみ分析。

(%)

図2-4-1 母親の子育て意識（否定的な感情）



※「よくある+ときどきある」の%。 ※母親の回答のみ分析。

子育てに対する肯定的な感情は、いずれの都市でも総じて高く、子育てや子どもとの関係に満足していることがわかる。その一方で、「子どもが将来うまく育っていくかどうか心配になること」についても、すべての都市で半数以上の母親が「ある」（よくある+ときどきある）と回答しており、

不安も同様に抱えている。都市ごとの傾向をみると、東京では「子どもに八つ当たりしたくなること」「子どもがわずらわしくていらいらしてしまうこと」の比率が、ソウルでは「子どもを育てるためにがまんばかりしていると思うこと」の比率が高いのが特徴である。

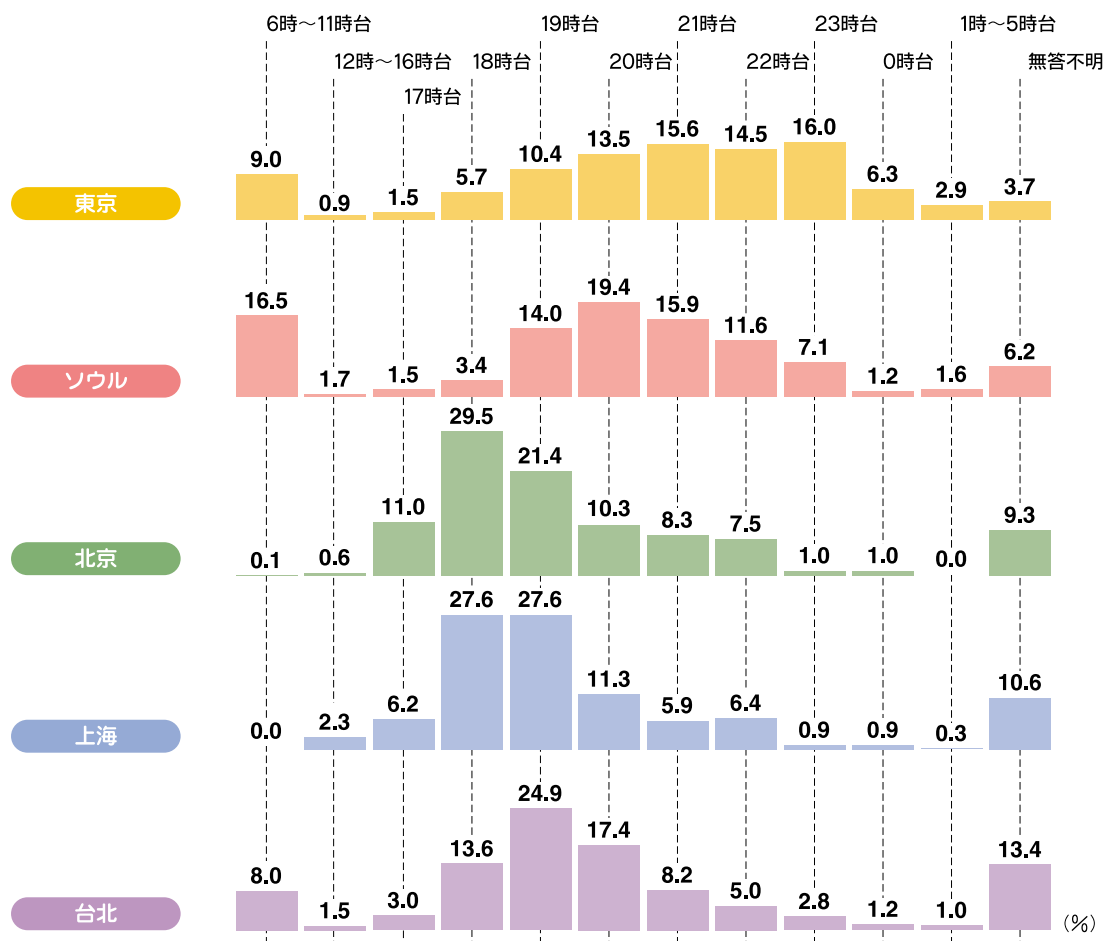
# 3 父親のかかわり

## 1 父親の帰宅時刻

父親の帰宅時刻をみると、東京がもっとも遅く、上海・北京は早い傾向が見られる。

Q 父親は平日、平均して何時頃帰宅しますか。

図3-1-1 父親の帰宅時刻



※配偶者がいる母親の回答のみ分析（父親が在宅ワークや無職の人も母数に含んでいる）。

父親の帰宅時刻を都市ごとにみると、東京がもっとも遅いことが明らかになった。

東京は19時台～23時台に回答がちらばっていて、39.7%が「22時台」以降（22時台+23時台+0時台+1時～5時台）に帰宅している。「22

時台」以降の比率は、ソウル21.5%、北京9.5%、上海8.5%、台北10.0%である。帰宅が集中する時間帯（10%以上）も、ソウルは19時台～22時台、北京は17時台～20時台、上海・台北は18時台～20時台と、東京より早い。



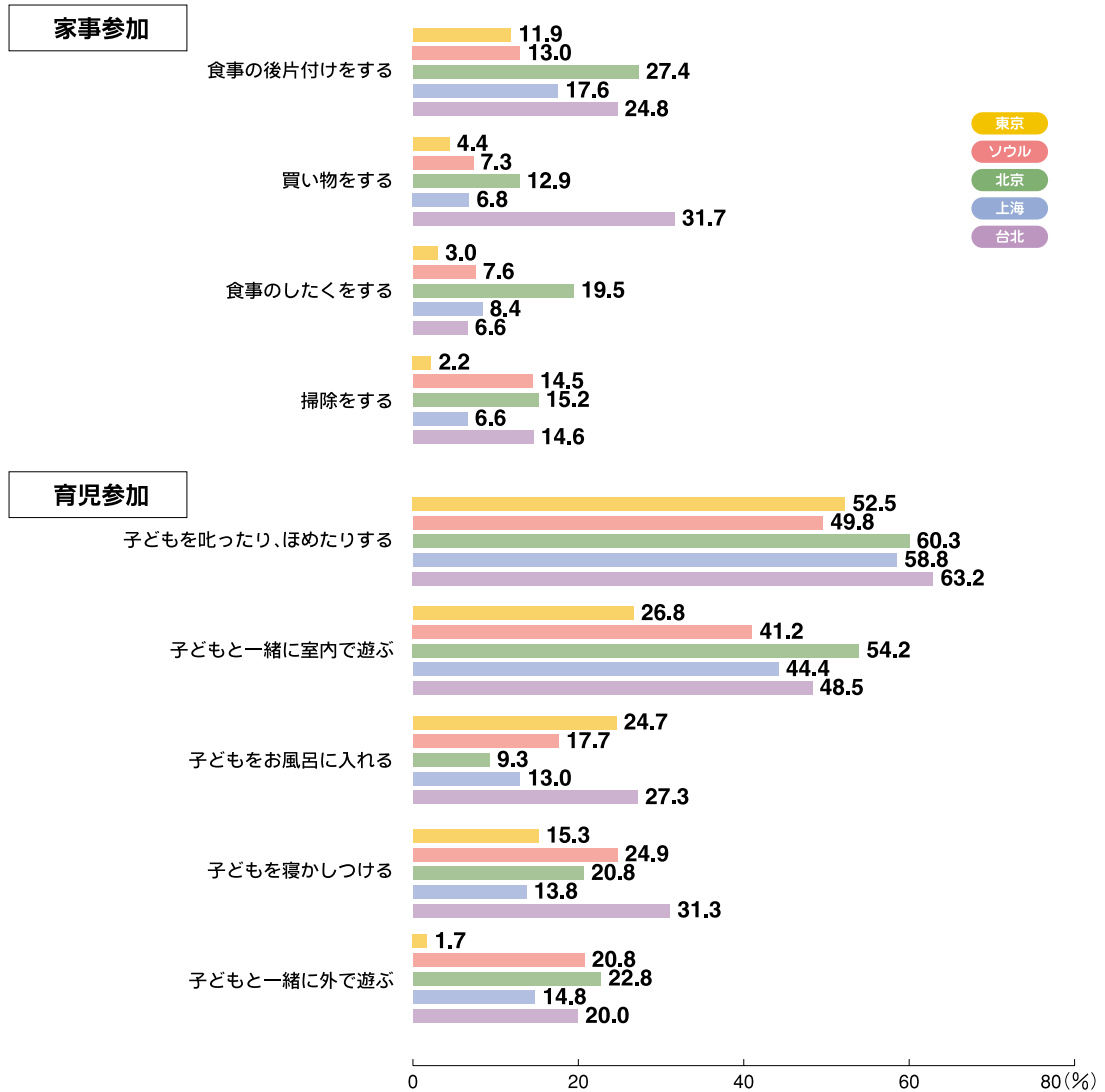
## 2

## 父親の家事・育児への参加状況

家事や育児に対する父親の参加状況をみると、どの都市も家事より育児への参加の頻度が高いことが共通している。

Q 父親は次のことについて、どれくらいしていますか。

図3-2-1 父親の家事・育児への参加状況



※「ほとんど毎日する+週に3~5回する」%。 ※配偶者がいる母親の回答のみ分析。

父親が家事をする頻度については、どの項目をみても、東京の父親の比率が低い。相対的にみて、東京の父親はあまり家事にかかわっていない様子がうかがえる。育児参加については、「子どもを叱ったり、ほめ

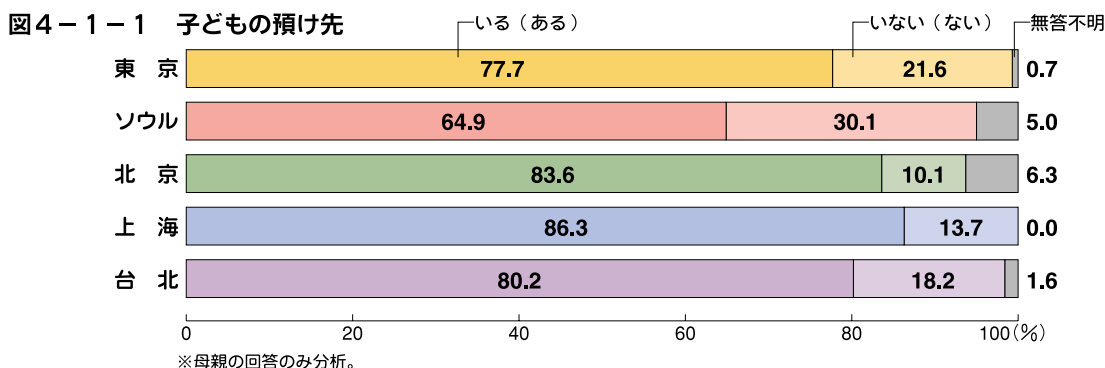
たりする」がいずれの都市でも5~6割程度(ほとんど毎日する+週に3~5回する)でもっとも高い。また、東京では「子どもと一緒に室内で遊ぶ」「子どもと一緒に外で遊ぶ」の比率が、他の都市に比べて低い。

# 4 子育て支援

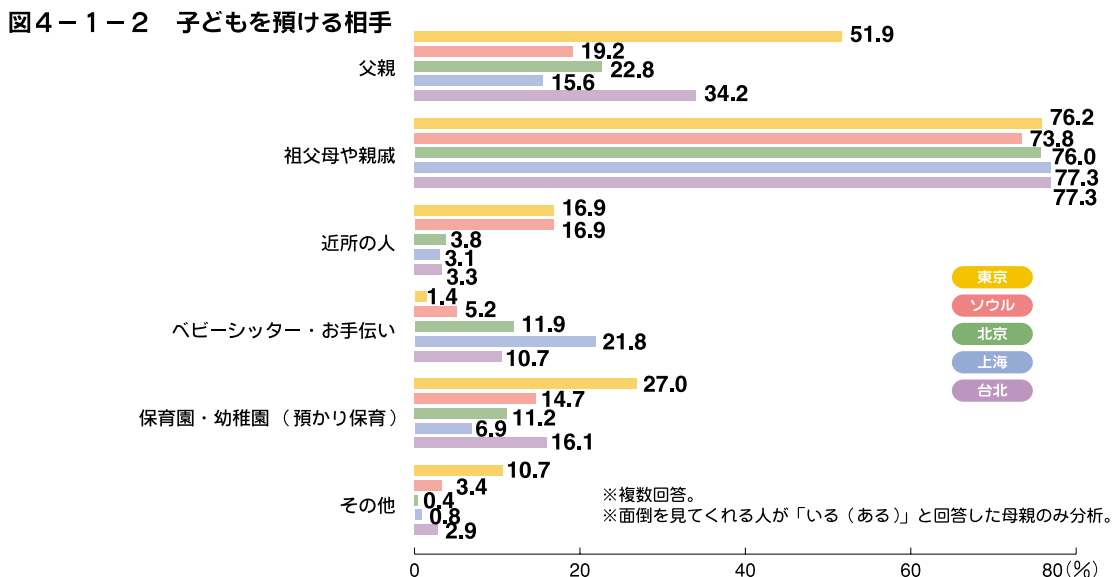
## 子どもの預け先

いずれの都市でも、6割～8割の母親は自分が仕事以外で家を空けるとき、子どもを預ける人（機関・サービス）が「いる（ある）」と回答した。預け先としては、どの都市も「祖父母や親戚」が高い。

Q あなたが仕事以外で家を空けるとき、子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）がいます（あります）か。



Q 面倒を見てくれる人（機関・サービス）を教えてください。



子どもを預ける人（機関・サービス）が「いる（ある）」と回答した母親の割合をみると、東京・北京・上海・台北は8割前後であるのに対して、ソウルは6割5分とやや低い。つづけて、「いる（ある）」と回答した人に、どういう人（機関・サービス）に子どもを預けるのかをたずねたところ、どの

都市も7割以上の母親が「祖父母や親戚」と回答した。また、「父親」の比率をみると、東京は51.9%で、「祖父母や親戚」に次ぐ2位となっている。「ベビーシッター・お手伝い」では、上海の回答比率が21.8%と、5都市の中でもっとも高い。

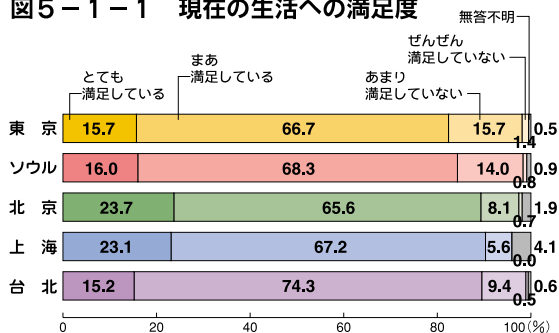
# 5 母親の満足度

## 生活全般の満足度

現在の生活や子どもの成長に対しては、どの都市でも8割～9割の母親が「満足している」と回答しており、満足度は高い。

Q 現在の生活に満足していますか。

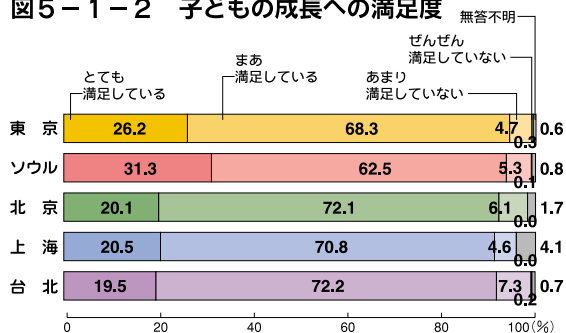
図5-1-1 現在の生活への満足度



※母親の回答のみ分析。

Q 現在のお子様の成長ぶりに満足していますか。

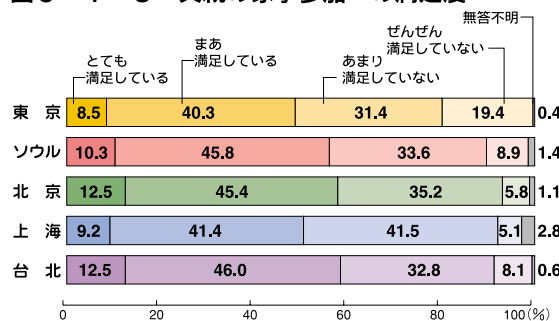
図5-1-2 子どもの成長への満足度



※母親の回答のみ分析。

Q あなたは父親の家事参加に満足していますか。

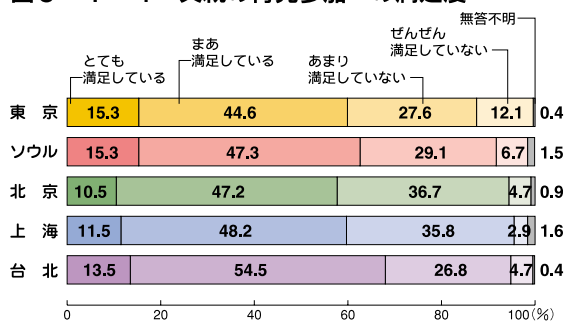
図5-1-3 父親の家事参加への満足度



※配偶者がいる母親の回答のみ分析。

Q あなたは父親の育児参加に満足していますか。

図5-1-4 父親の育児参加への満足度



※配偶者がいる母親の回答のみ分析。

現在の生活に「満足している」(とても満足している + まあ満足している)と回答した母親は、いずれの都市でも8割を超えている。その中でも「とても満足している」に注目すると、北京と上海は2割を超えていて、満足度が高い様子がうかがえる。

また、どの都市でも9割の母親が子どもの成長に満足している。とくに、ソウルでは「とても満足している」と回答した母親は3割を超えている。

父親の家事・育児参加に対する満足度は、いずれの都市でも現在の生活や子どもの成長に対する満足度よりも低い。さらに、「父親の家事・育児への参加状況」(p.17)と合わせてみると、父親の家事・育児への参加頻度が高いからといって、必ずしも母親の満足度が高いというわけでもないことがわかる。ただし、東京では「ぜんぜん満足していない」の比率が他の都市に比べて、高い傾向がある。

## 幼児の生活アンケート・東アジア5都市調査

調査企画・分析メンバー

- 無藤 隆 (白梅学園大学長)
- 一見 真理子 (国立教育政策研究所総括研究官)
- 李 基淑 (ソウル・梨花女子大学校幼児教育学科教授)
- 張 燕 (北京・北京師範大学教育学院教授)
- 朱 家雄 (上海・華東師範大学学前・特殊教育学院教授)
- 蔡 春美 (台北・台北教育大学幼児教育学部教授)
- 相馬 直子 (日本学術振興会特別研究員・東京大学大学院総合文化研究科)
- 木村 治生 (Benesse教育研究開発センター教育調査室長)
- 邵 勤風 (Benesse教育研究開発センター研究員)
- 鈴木 尚子 (Benesse教育研究開発センター研究員)
- 朝永 昌孝 (Benesse教育研究開発センター研究員)

『幼児の生活アンケート報告書・東アジア5都市調査』は2006年3月に刊行予定です。

本調査の詳細な分析をまとめた『幼児の生活アンケート報告書・東アジア5都市調査』(180頁程度、頒価1000円)を、2006年3月に刊行する予定です。それぞれの国・地域の幼児教育専門家が各都市の幼児の生活実態をわかりやすく解説します。この報告書をご希望の方は、添付のアンケートハガキをご利用いただき、希望する冊数をご記入の上、ご投函ください。発刊次第、お送りいたします。なお、この報告書は、書店ではお求めになれません。直接、Benesse教育研究開発センターにお申し込みください。

### 『第3回 幼児の生活アンケート報告書・国内調査』(2006年1月既刊)

本調査は、国内(首都圏・2005年実施)の幼児をもつ保護者を対象に1995年・2000年にも実施しています。この国内データを詳細に分析した『第3回幼児の生活アンケート報告書・国内調査』(170頁、頒価1000円)を2006年1月に刊行しています。報告書をご希望の方は、添付のアンケートハガキをご利用いただき、希望冊数をご記入の上、ご投函ください。なお書店ではお求めになれません。直接、Benesse教育研究開発センターにお申し込みください。

**Benesse教育研究開発センターの調査結果は、WEB サイトでご紹介しています。**

Benesse教育研究開発センターで実施している各種調査は、下記のWEBサイトで閲覧することができます。

<http://benesse.jp/berd/>

### アンケートにご協力ください。

本調査に関するご意見ご感想を、添付のハガキにてお聞かせください。  
なお、本調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

〒206-8686 東京都多摩市落合1-34

㈱ベネッセコーポレーション Benesse教育研究開発センター「幼児の生活アンケート」係

受付時間/10:00~17:00(土日、祝日を除く)

『幼児の生活アンケート・東アジア5都市調査』速報版

発行日:2006年2月8日 発行人:新井健一 編集人:斎藤茉莉子 発行所:(株)ベネッセコーポレーション Benesse教育研究開発センター

5B004-A ●この冊子は、再生紙を使用しています。